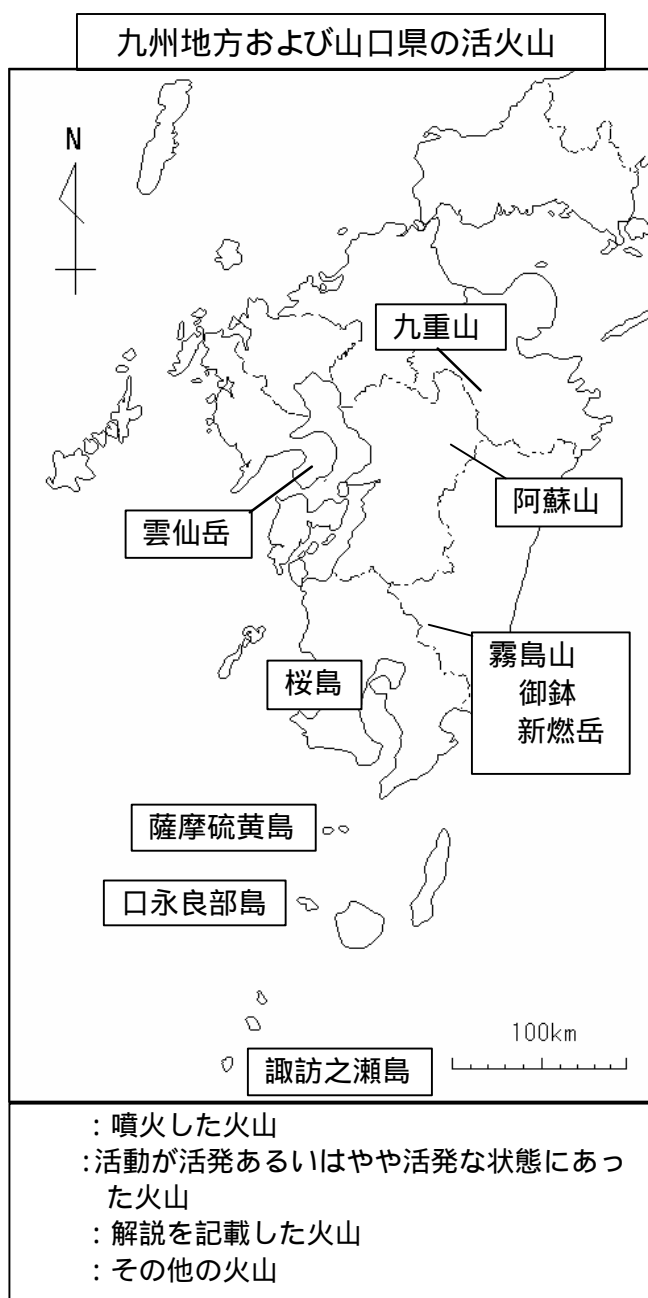


九州地方の火山活動解説資料(平成 19 年 2 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【2月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。
霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。



九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山
[御鉢] やや活発な状況(レベル2) 5日に静穏な状況(レベル1)から引上げ
5日に継続時間の短い振幅のやや大きな火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発になったと判断し、レベルを1から2に上げました。

[新燃岳] 静穏な状況(レベル1)
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]
南岳山頂火口では爆発的噴火が時々発生しました。
火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]
火山性地震や火山性微動はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]
20日に爆発的噴火がやや多発し、また噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成19年3月分)は4月9日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概要
霧島山	火山観測情報第 2 号	2 月 5 日 13 時 40 分	<p>やや活発な状況(レベル 2) 5 日に静穏な状況(レベル 1)から引上げ</p> <p>御鉢では、5 日に継続時間の短い振幅のやや大きな火山性微動が発生するなど、火山活動はやや活発になったと判断し、レベルを 1 から 2 に上げました。</p> <p>新燃岳は、静穏な状況で経過しました。</p>